

# U-don～あなたと私のきずなは太くてコシがある～

## 【目的】

- ① 地域の方々に小金井うどんを知ってもらうとともに、小金井うどんの伝道士を育成する
- ② 学生が大学周辺地域に伝わる小金井うどんの文化を学び、人に伝えられるようになる
- ③ 学生が主体的にイベントを企画、運営することで地域教育の実践の場とし、将来の教育活動に生かす

## 【イベント①】「小金井うどん勉強会」

- ・ 日時 平成 20 年 7 月 27 日 13 時～18 時
  - ・ 会場 環境教育実践施設
  - ・ 講師 清水正夫氏、遠藤民蔵氏
- 地域住民に向けたイベントを前に、当日協力していただける中山谷青壮年会の方々から、学生が小金井うどんの打ち方と歴史、文化を学びました。

## 【イベント②】「小金井うどんを打とう!!」

- ・ 日時 平成 20 年 8 月 17 日 10 時～16 時
  - ・ 会場 環境教育実践施設
  - ・ 参加 小学生 4 名、中学生 1 名、保護者 3 名
  - ・ 協力 清水正夫氏、遠藤民蔵氏、瀧本広子氏
- 小金井市内から参加者を集い、小金井市に古くから伝わる、小金井うどんの打ち方と歴史、文化を学ぶ講座を開きました。前半は小金井うどんを実際に打ち、試食をしました。後半は清水正夫氏、遠藤民蔵氏に、小金井うどんの歴史や文化について、インタビュー形式でお話を伺いました。

## 【参加者アンケートから】

「今回のうどんづくり活動で、印象に残ったことは何ですか？」

- ・ うどんを延ばしたことです。(保護者)
- ・ たべたこと (小学校 4 年生)
- ・ きじは、小さいと思っていたけどけっこう大きかったです。(小学 4 年生)
- ・ ぼうできじをのぼすのが、おもしろかったです。(小学 5 年生)

「今回のうどん作りに参加した感想を書こう」

- ・ あっという間に時間がたちました。楽しいひとときがすごせました。(保護者)
- ・ おもしろかったしつかれた。(小学 2 年生)
- ・ この活動を家庭科の夏休みの宿題にして書くつもりです。(中学 2 年生)

- ・ 小金井で昔からうどんを作って食べていたとは知りませんでした。子供の体験に良いと思い参加しましたが、私自身も大変勉強になりました。(保護者)

## 【協力者の皆さんから】

- ・ 皆さん大人も子供さんも一生けん命作っていただきましたのがよかったです。
- ・ 人数がすくないけど、(当初予定していた) 20 人では多いかと思った
- ・ 豊かな自然と、伝統の技を子どもたちのために伝えてゆきたいですね。

## 【学生のふりかえり】

- ・ 伝道士を育成することができたか、といわれると疑問だが、小金井うどんに関する基礎知識と技術を得てもらったという点においては成果といえる。また、家でも実際に作ってみたいという声が聞かれた。
- ・ 小金井うどんの歴史と文化を伝える資料として、写真を利用した。昔の小金井の風景や農業の様子を写したものは見つかったが、うどんに関する写真は見つけることができなかった。写真だけではなく、小麦の穂や石うすなど、材料以外の資材が手に入れば、効果的に伝えることができたか。
- ・ 地域教育の素材の一つとして、食べ物を利用するのは正解だった。食べる活動が入ることで、作る作業に関しては、子供たちは集中して、楽しそうに活動していた。
- ・ 清水さん、遠藤さんにインタビューの際に、子供たちから質問や意見が出なかったのは残念だった。60 分という時間は、小金井うどんの概要を理解するにはちょうどいい時間に思えたが、写真を利用しても、小学生にとっては長かったようだ。
- ・ イベントの日程をお盆中に定めてしまったということもあり、参加者を集めるのに苦労した。ニーズを含め、教育の内容とともに、広報活動の重要性をも感じた。

